

# 太平洋

# 尾崎酒造 (和歌山県新宮市)

☆紀南唯一の酒蔵

大阪からJRの特急で、和歌山県新宮市に向かう。紀伊田辺駅から日浜を越えて紀伊半島の南端、串本駅までは約1時間。そこから北東方向にカーブを切り、さらに45分ほど走る。車窓からは雄大な太平洋が見え隠れする。

尾崎酒造の酒蔵は、新宮駅から徒歩15分ほどの所であった。社長の尾崎征明さん(62)は「田辺から南の酒蔵はここだけ」と語った。

新宮市は三重県境にある。三重県側は松阪市あたりまで酒蔵はないという。ちなみに松阪まで特急で2時間かかる。

「和伊半島の南部は山ばかりで、平地は海に沿って少しあるだけ」と、尾崎さんは酒蔵がない理由を分析する。

この地区には古くから信仰を集める熊野三社があり、神社に酒はつきものだ。また、三重県側には、ととく祭りが残っている地区があるという。昔は酒蔵がいくつもあったと推測できるが、尾崎酒造が創業した1888年には、すでに1軒だけになっていた

# 近畿望見

## ぶらり酒蔵

編集委員・梶川伸

# 地元にとだわり

## 南国ならではの芳醇な味



尾崎酒造の建物は、古い木造建築を移築した

尾崎さん自身は、作家の中上健次と親しかった。中上は新宮高校の2年後輩だった。中上は同級生らと「盟の会」をつくり、それが「熊野大学」という文学などの勉強会に発展していった。新宮市で開かれる夏季セミナーには、全国から作家の卵や文学愛好家らが100人も集まる。

# 文人から軍人まで愛され

尾崎さん(62)は、作家の中上健次と親しかった。中上は新宮高校の2年後輩だった。中上は同級生らと「盟の会」をつくり、それが「熊野大学」という文学などの勉強会に発展していった。新宮市で開かれる夏季セミナーには、全国から作家の卵や文学愛好家らが100人も集まる。

### ☆特徴醸す井戸水

尾崎さんは、地元の文人にも愛された。佐藤春夫が生まれたのは、蔵から約30分離れた場所。碑が立っている。「祖父は親父があったゆえ」と尾崎さんは言う。

### ☆しょうちゅうも

地元の酒にとだわってき



尾崎社長は地元にとだわり

### メモ

尾崎酒造株式会社 和歌山県新宮市船町3。☎0735・22・2105。1升瓶の太平洋の本醸造2205円、上撰1888円、佳撰1643円。ほかに日本酒は熊野三山、熊野那智の滝など。梅酒は備長炭のしらべ、しょうちゅうは熊野水軍。

2006.10.3  
毎日新聞より

(次回は11月28日)